

取扱説明書

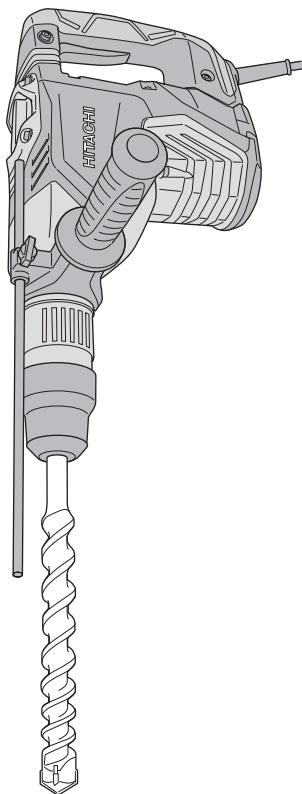


用途

- コンクリートの穴あけ
- アンカ下穴の穴あけ
- コンクリートのハツリ、破砕、溝掘り、角出し、切断、はがし

日立ハンマドリル

40 mm **DH 40MEY** [SDSmaxシャンクタイプ]



このたびは日立ハンマドリルをお買い上げいただき、ありがとうございました。

ご使用前にこの取扱説明書をよくお読みになり、正しく安全にお使いください。

お読みになった後は、いつでも見られる所に大切に保管してご利用ください。

電動工具の安全上のご注意	1
二重絶縁について	4
本製品の使用上のご注意	4
各部の名称	5
標準付属品	6
仕様	6
別売部品	7

はじめに




ご使用前の点検	9
工具の取付け・取りはずし	10
作業モードの設定	11
通電ランプについて	12
回転数・打撃数の調整	12
保護機能について	13
ストッパの使い方	14
スリップクラッチ機構について	14
穴をあける	15
ハツリ・破砕する	16
ドリルチャックの使い方	17
テーパシャンクアダプタの使い方	18
コアビットの使い方	19


使い方


保守・点検	21
ご修理のときは	裏表紙


その他


警告、 注意、 注 の意味について

ご使用上の注意事項は「 警告」、「 注意」、「 注」に区分しており、それぞれ次の意味を表します。

 **警告** : 誤った取扱いをしたときに、使用者が死亡または重傷を負う可能性が想定される内容のご注意。

 **注意** : 誤った取扱いをしたときに、使用者が傷害を負う可能性が想定される内容および物的損害のみの発生が想定される内容のご注意。

なお、「 注意」に記載した事項でも、状況によっては重大な結果に結び付く可能性があります。いずれも安全に関する重要な内容を記載しているので、必ず守ってください。

 **注** : 製品のすえ付け、操作、メンテナンスに関する重要なご注意。

電動工具の安全上のご注意

- 火災、感電、けがなどの事故を未然に防ぐために、次に述べる「安全上のご注意」を必ず守ってください。
- ご使用前に、この「安全上のご注意」すべてをよくお読みの上、指示に従って正しく使用してください。
- お読みになった後は、お使いになる方がいつでも見られる所に必ず保管してください。

警告

- ① 作業場は、いつもきれいに保ってください。**
 - ちらかった場所や作業台は、事故の原因になります。
- ② 作業場の周囲状況も考慮してください。**
 - 電動工具は、雨の中で使用したり、湿った、または、ぬれた場所で使用しないでください。
 - 作業場は十分に明るくしてください。
 - 可燃性の液体やガスのある所で使用しないでください。
- ③ 感電に注意してください。**
 - 電動工具を使用中、身体を、アース(接地)されているものに接触させないようにしてください。
(例えば、パイプ、暖房器具、電子レンジ、冷蔵庫などの外枠)
- ④ 子供を近づけないでください。**
 - 作業員以外、電動工具やコードに触れさせないでください。
 - 作業員以外、作業場へ近づけないでください。
- ⑤ 使用しない場合は、きちんと保管してください。**
 - 乾燥した場所で、子供の手の届かない高い所または鍵のかかる所に保管してください。
- ⑥ 無理して使用しないでください。**
 - 安全に能率よく作業するために、電動工具の能力に合った速さで作業してください。

警告

⑦ 作業に合った電動工具を使用してください。

- 小形の電動工具やアタッチメントは、大形の電動工具で行う作業には使用しないでください。
- 指定された用途以外に使用しないでください。

⑧ きちんとした服装で作業してください。

- だぶだぶの衣服やネックレスなどの装身具は、回転部に巻き込まれる恐れがあるので、着用しないでください。
- 屋外で作業する場合には、ゴム手袋と滑り止めの付いた履物の使用をお勧めします。
- 長い髪は、帽子やヘアカバーなどでおおってください。

⑨ 保護メガネを使用してください。

- 作業時は、保護メガネを使用してください。また、粉じんの多い作業では、防じんマスクを併用してください。

⑩ 防音保護具を着用してください。

- 騒音の大きい作業では、耳栓、イヤマフなどの防音保護具を着用してください。

⑪ コードを乱暴に扱わないでください。

- コードを持って電動工具を運んだり、コードを引っ張ってコンセントから抜かないでください。
- コードを熱、油、角のとがった所に近づけないでください。

⑫ 加工する物をしっかりと固定してください。

- 加工する物を固定するために、クランプや万力などを利用してください。手で保持するより安全で、両手で電動工具を使用できます。

⑬ 無理な姿勢で作業をしないでください。

- 常に足元をしっかりとさせ、バランスを保つようにしてください。

⑭ 電動工具は、注意深く手入れをしてください。

- 安全に能率よく作業していただくために、刃物類は常に手入れをし、よく切れる状態を保ってください。
- 注油や付属品の交換は、取扱説明書に従ってください。
- コードは定期的な点検し、損傷している場合は、修理をお買い求めの販売店に依頼してください。
- 延長コードを使用する場合は、定期的な点検し、損傷している場合には交換してください。
- 握り部は、常に乾かしてきれいな状態を保ち、油やグリースが付かないようにしてください。

⑮ 次の場合は、電動工具のスイッチを切り、電源プラグをコンセントから抜いてください。

- 使用しない、または修理する場合。
- 刃物、トイシ、ビットなどの付属品を交換する場合。
- その他、危険が予想される場合。

警告

⑩ 調節キーやスパナなどは、必ず取りはずしてください。

- 電源を入れる前に、調節に用いたキーやスパナなどの工具類が取りはずしてあることを確認してください。

⑪ 不意な始動は避けてください。

- 電源につないだ状態で、スイッチに指を掛けて運ばないでください。
- 電源プラグをコンセントにさし込む前に、スイッチが切れていることを確かめてください。

⑫ 屋外使用に合った延長コードを使用してください。

- 屋外で延長コードを使用する場合、キャブタイヤコードまたはキャブタイヤケーブルを使用してください。

⑬ 油断しないで十分注意して作業を行ってください。

- 電動工具を使用する場合は、取扱方法、作業のしかた、周りの状況など十分注意して慎重に作業してください。
- 常識を働かせてください。
- 疲れているときは、使用しないでください。

⑭ 損傷した部品がないか点検してください。

- 使用前に、保護カバーやその他の部品に損傷がないか十分点検し、正常に作動するか、また、所定機能を発揮するか確認してください。
- 可動部分の位置調整および締付け状態、部品の破損、取付け状態、その他、運転に影響を及ぼすすべての箇所に異常がないか確認してください。
- 損傷した保護カバー、その他の部品交換や修理は、取扱説明書の指示に従ってください。取扱説明書に指示されていない場合は、お買い求めの販売店に修理を依頼してください。
- スイッチが故障した場合は、お買い求めの販売店に修理を依頼してください。
- スイッチで始動および停止操作のできない電動工具は、使用しないでください。

⑮ 指定の付属品やアタッチメントを使用してください。


- この取扱説明書および当社カタログに記載されている指定の付属品やアタッチメント以外のものは、事故やけがの原因になる恐れがあるので、使用しないでください。

⑯ 電動工具の修理は、専門店で依頼してください。

- この電動工具は、該当する安全規格に適合しているので改造しないでください。
- 修理は、必ずお買い求めの販売店に依頼してください。ご自分で修理しますと、事故やけがの原因になります。

二重絶縁について

電気の流れる所と外観部品との間が、異なる二つの絶縁物で絶縁されていることを言います。たとえ一つの絶縁物がこわれても、もう一つの絶縁物で保護されていて感電しにくくなっています。

お求めの製品は二重絶縁構造であり、銘板に  マークで表示してあります。異なった部品と交換したり、間違って組立てたりすると二重絶縁構造でなくなります。

電気系統の分解、組立や部品の交換はお買い求めの販売店に依頼してください。

本製品の使用上のご注意

先に電動工具として共通の注意事項を述べましたが、ハンマドリルとして、さらに次に述べる注意事項を守ってください。

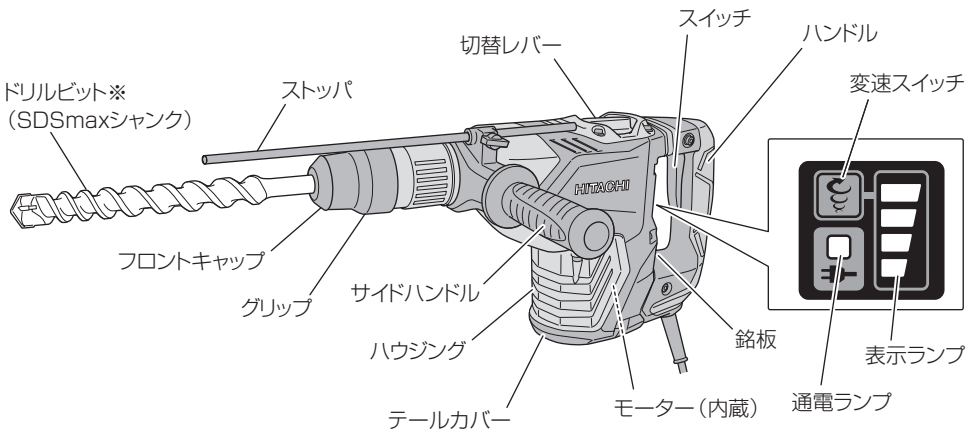
警告

- ① 使用電源は、銘板に表示してある電圧で使用してください。
 - 表示を超える電圧で使用すると、速度が異常に速くなり、けがの原因になります。
- ② 直流電源や昇圧器などのトランス類で使用しないでください。
 - 製品の損傷を生じるだけでなく、事故の原因になります。
- ③ 作業する箇所に、電線管・水道管やガス管などの埋設物がないことを、作業前に十分確かめてください。
 - 埋設物があると工具が触れ、感電や漏電・ガス漏れの恐れがあり、事故の原因になります。
- ④ 使用中は、振り回されないようにサイドハンドルを付け、機体を両手で確実に保持してください。
 - 確実に保持していないと、けがの原因になります。
- ⑤ 使用中は、工具類に手や顔などを近づけないでください。
 - けがの原因になります。
- ⑥ 使用中、機体の調子が悪かったり、異常音、異常振動がしたときは、直ちにスイッチを切って使用を中止し、お買い求めの販売店に点検・修理を依頼してください。
 - そのまま使用していると、けがの原因になります。
- ⑦ 誤って落としたり、ぶつけたときは、工具類や機体などに破損や亀裂、変形がないことをよく点検してください。
 - 破損や亀裂、変形があると、けがの原因になります。
- ⑧ シリカや石綿は人体に有害です。このような成分を含んだ材料を加工するときは、防じん対策をしてください。

⚠ 注意

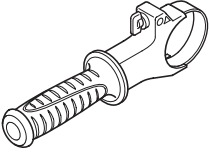
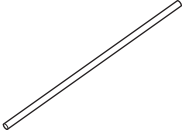
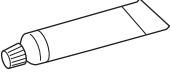
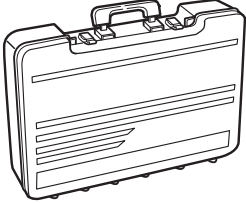
- ① 工具類や付属品は、取扱説明書に従って確実に取付けてください。
 - 確実にしないと、はずれたりし、けがの原因になります。
- ② 使用中は、軍手など巻き込まれる恐れがある手袋を着用しないでください。
 - 回転部に巻き込まれ、けがの原因になります。
- ③ 作業中は、ヘルメット、安全靴を着用してください。
- ④ 作業直後の工具類は高温になっているので、触れないでください。
 - やけどの原因になります。
- ⑤ 高所作業のときは、下に人がいないことをよく確かめてください。また、コードを引っ掛けたりしないでください。
 - 材料や機体などを落としたとき、事故の原因になります。
- ⑥ 運転させたまま、台や床などに放置しないでください。
 - けがの原因になります。
- ⑦ 作業の際、機体を無理に押しつけないでください。
 - 先端工具を傷めて作業効率が低下するだけでなく、機体の寿命低下につながります。

各部の名称



※ドリルビットは別売りです

標準付属品

サイドハンドル 	ストップパ 
ハンマグリースA 	プラスチックケース 

はじめに

仕様

使用電源	単相交流 50/60Hz 共用	電圧 100 V
穴あけ能力	ドリルビット 40 mm、コアビット 105 mm	
全負荷電流	13.5 A	
消費電力	1150 W	
無負荷回転数	250 ~ 500 min ⁻¹ {回/分}	
全負荷打撃数	1430 ~ 2850 min ⁻¹ {回/分}	
モーター	ブラシレスモーター	
質量	7.5 kg (サイドハンドル含む)	
コード	2心キャブタイヤケーブル 5 m	
振動3軸合成値 ^{※1}	回転+打撃	8.0 m/s ² ^{※2} 打撃 7.3 m/s ² ^{※2}

※1：振動3軸合成値(周波数補正振動加速度実効値の3軸合成値)については、JEMA [一般社団法人日本電機工業会] ウェブサイト：<http://www.jema-net.or.jp/Japanese/pis/powertool.html> をご参照ください。

※2：振動3軸合成値は、EN60745-2-6規格に基づき測定しています。

別売部品 (別売部品は生産を打ち切ることがありますので、ご了承ください)

用途に応じたアタッチメントをご使用いただくことで、いろいろな作業にご利用できます。

各部寸法等につきましては、お買い求めの販売店にお問い合わせください。

● “回転+打撃”モードで使用

先端工具

- コンクリート、石材の穴あけ



ドリルビット(SDSmaxシャンク)

- 大径穴あけ



ガイドプレート センタピン コアビット

- アンカ下穴あけ



ドリルビット
(テーパーシャンク)



ドリルビット
(SDS-プラスシャンク)

- 金属、木材のドリル穴あけ



鉄工ドリル(市販品)



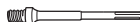
木工ドリル(市販品)

- ケミカルアンカ用ボルト打ち込み



(市販ソケット)

接続工具



コアビットシャンク
(SDSmaxシャンク)



テーパーシャンクアダプタ
(SDSmaxシャンク)



コッタ



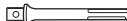
SDS-プラスシャンク
ビット用アダプタ
(SDSmaxシャンク)



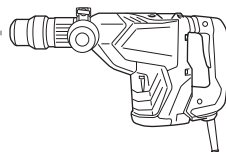
13ドリルチャック + チャックアダプタ
(SDSmaxシャンク)



チャックハンドル

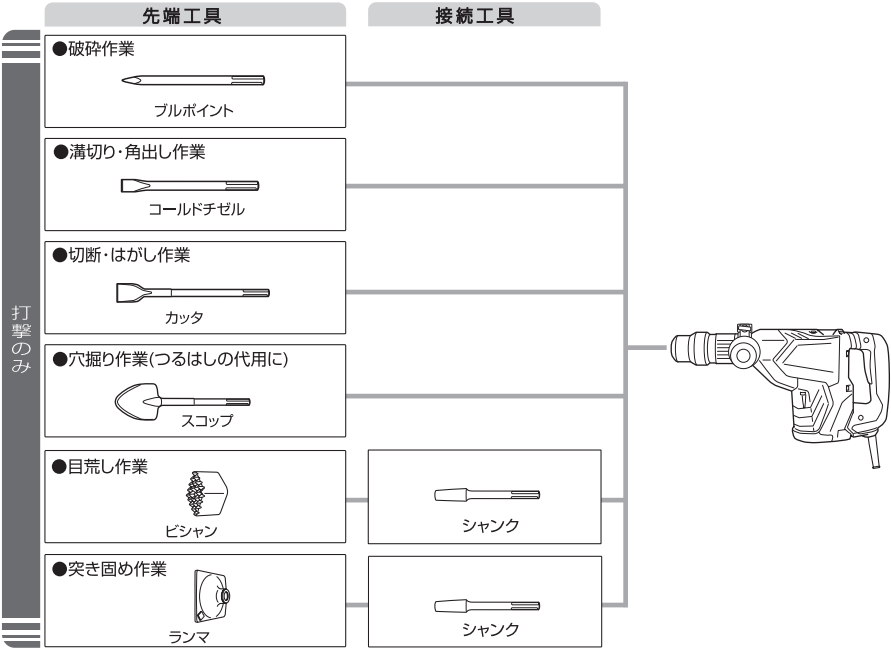


ケミカルアンカアダプタ
(SDSmaxシャンク)



回転
+
打撃

● “打撃”モードで使用




打撃のみ


はじめてに

●その他

- スポイト(穴あけ後の切り粉除去用)



ゴム球式



ジャバラ式

ご使用前の点検

●漏電しゃ断器の設置

本製品は二重絶縁構造のため、法令により漏電しゃ断器の設置は免除されています。しかし、万一の感電を防止するためにも漏電しゃ断器が設置されている電源に接続することをおすすめします。

●延長コードを使う場合

延長コードは公称断面積 1.25 mm²以上の太さで、右表の「最大長さ」よりも短いものを使用してください。



延長コードは損傷のないものを用意してください。

公称断面積 (mm ²)	最大の長さ (m)
1.25	10
2	15
3.5	30

●使用電源の確認

- 必ず銘板に表示してある電源で使用してください。
表示を超える電圧で使用するとモーターの回転数が異常に速くなり、機体が破壊する恐れがあります。
- 直流電源や変圧器、溶接機などの電源で使用しないでください。
製品の損傷を生じるだけでなく、事故の原因になります。

●コンセントの確認

電源プラグがガタついたり、抜けやすいコンセントは修理が必要です。修理には電気工事士の資格が必要ですので、お近くの電気工事店などにご相談ください。修理せずにそのまま使用すると、過熱して事故の原因になります。

○騒音防止規制について

騒音に関しては、法令や各都道府県などの条例で定める規制があります。ご近所に迷惑をかけないように、規制値以下でご使用になることが必要です。状況に応じ、しゃ音壁を設けて作業してください。

工具の取付け・取りはずし

⚠ 警告

工具の取付け・取りはずしの際、万一の事故を防止するため、必ずスイッチを切り、電源プラグをコンセントから抜いてください。

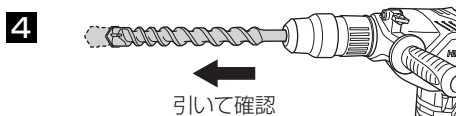
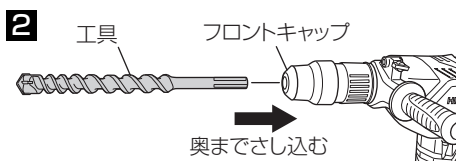
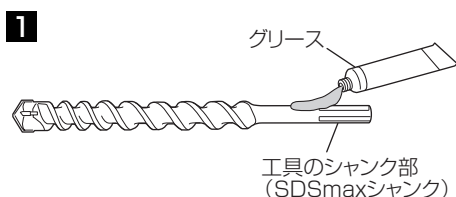
⚠ 注意

工具は、当社指定の別売部品を使用してください。
(P7、8「別売部品」参照)

この機体の工具取付け部はSDSmaxシャンク品専用となっておりますので、SDSmaxシャンクの先端工具または各種アダプタを使用してください。

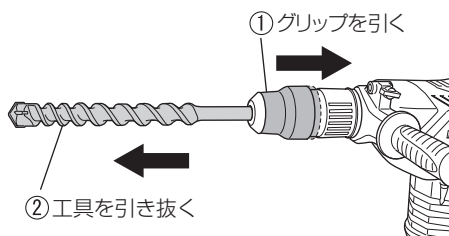
取付け

- 1 工具のシャンク部をきれいに拭き、グリースまたは機械油を塗布します。
- 2 工具をフロントキャップの穴にさし込み、奥まで突き当てます。
- 3 工具を軽く押しながらかいていくと、工具の溝がかみ合っさらに奥まで入って突き当たります。
- 4 確実に工具が固定されたか、工具を引いて確認します。



取りはずし

工具を取りはずすときは、グリップを矢印方向へ一杯に引き、工具を引き抜きます。



作業モードの設定

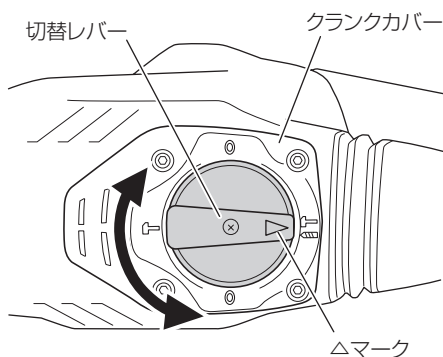
⚠ 注意

- モーター停止時に切替レバーを操作してください。
モーターの回転中に切替えると、不意に工具が回り、思わぬ事故の原因になります。
- ハツリ・破碎用工具などは必ず "打撃" モードで使用してください。
"回転+打撃" モードで使用すると、工具が回り、思わぬ事故の原因になります。

作業モードの設定

切替レバーを回して△マークをクラックカバーの各マーク位置に合わせます。

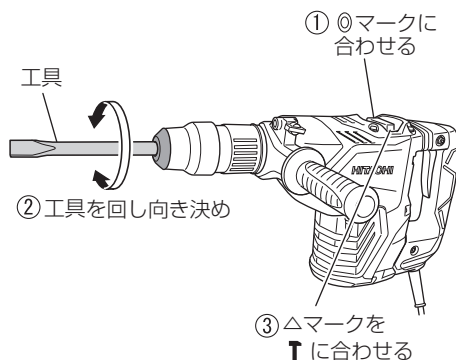
- ⚡ "回転+打撃" モード
- ⊙ 工具の位置決め
- ⬇ "打撃" モード



⊙マーク：工具の位置決めについて

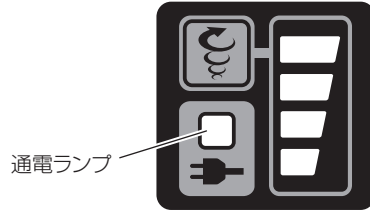
コールドチゼルやスコップなどの工具先端の向きを決めるときは、

- ① △マークを ⊙マーク に合わせて
- ② 工具を回して、工具先端の向きを決めます。
- ③ 次に、切替レバーを再び回して、
⬇ マーク ("打撃" モード) に △マーク を合わせます。
- ④ 工具が回転しないことを確認します。



通電ランプについて

電源プラグをコンセントにさし込むと、通電ランプが点灯します。



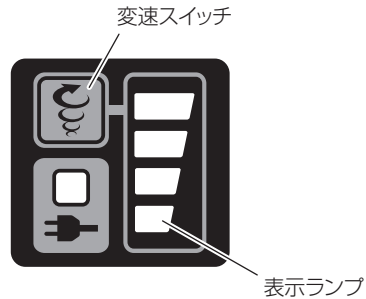
回転数・打撃数の調整

回転数・打撃数を調整する電子制御回路を内蔵しています。

もろい材料への穴あけ、ハツリ作業また芯出し作業など、作業内容により変速スイッチで回転数を切替えてください。

変速スイッチを押すと、表示ランプとともに回転数が切替わります。

注 モーターの回転中に変速スイッチを押しても切替えはできません。本体を停止してから、操作してください。



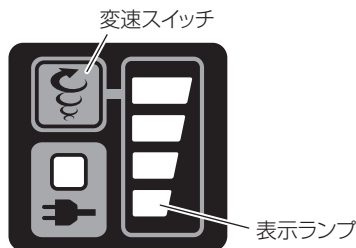
表示ランプ点灯状態				
回 転 数	250 回/分	330 回/分	410 回/分	500 回/分
打 撃 数	1430 回/分	1900 回/分	2370 回/分	2850 回/分






保護機能について

本機には機体に異常が発生した場合に、機体の損傷を防ぐ保護回路が内蔵されています。

次のような場合には、表示ランプが点滅して運転を制御したり、停止します。表示ランプの点滅状況を確認して対処してください。

変速スイッチは、スイッチを引いていない状態で押してください。



表示ランプ点滅状態	原因	対処方法
	温度上昇保護機能により自動停止する温度域に近づいたため、徐々に回転数を下げた。 (パワー制御機能) ※表示ランプが2個、1個の場合はパワー制御機能は作動しません。	作業の負荷を下げて、温度が下がると、通常パワーで使用することができます。 作業を継続すると、温度保護機能により自動停止する場合があります。(下段参照)
	内部温度が高温となり、規定値を超えたため、運転を停止した。 (温度上昇保護機能)	15～30分ほど機体を休めてください。 温度が下がると、変速スイッチを押した際に復帰します。
	機体に無理な力がかわり、過負荷状態となったため、運転を停止した。 (過負荷保護機能)	変速スイッチを押すと復帰します。 過負荷にならないよう作業してください。
	①電圧が低すぎる、または高すぎる電源に接続されているため、起動しない。 もしくは運転を停止した。 ②電源プラグの抜き差しを短い間隔で行ったため、電圧信号の読み取りエラーとなり、運転を停止した。 (制御監視機能)	①銘板に記載された電源電圧に接続してください。 変速スイッチを押すと、復帰します。 ②電源プラグの抜き差しは、3秒以上間隔をあけてください。 変速スイッチを押すと、復帰します。
	センサー信号の読み取りエラーのため、起動しない。 もしくは運転を停止した。 (制御監視機能)	変速スイッチを押すと復帰します。 連続して発生するときは、故障の可能性があります。

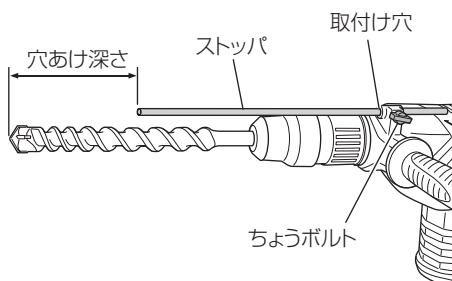
注 対処方法を行っても表示ランプが点滅し続ける場合は、機体の故障が考えられます。お買い求めの販売店に修理を依頼してください。

ストップの使い方

付属のストップは穴あけ深さの調整に用いるものです。同じ深さの穴を連続してあける場合は、能率が上がり、穴の深さが正確になります。

1 ちょうボルトをゆるめ、サイドハンドルの取付け穴にストップを通します。

2 所定の穴深さになったときストップが材料に突き当たるよう位置を調整し、ちょうボルトを回してしっかりと固定します。



スリップクラッチ機構について

この機構は、作業中の本体に急激に大きな負荷がかかったとき、モーターとビットの間の伝達部をスリップさせて、直接大きな反力がかかることを防止します。

注 スリップクラッチが作動し、ビットの回転が停止した場合には、すみやかにスイッチを切ってください。

穴をあける

"回転 + 打撃" モードで
コンクリート、アンカ下穴の穴あけ作業

警告

- 工具・ストップの取付けや取りはずしの際、万一の事故を防止するため、必ずスイッチを切り、電源プラグをコンセントから抜いてください。
- サイドハンドルとハンドルをしっかり握って作業してください。
工具が鉄筋などに当たると急に止まり、その反動で機体が回ろうとします。

1 工具を取付ける

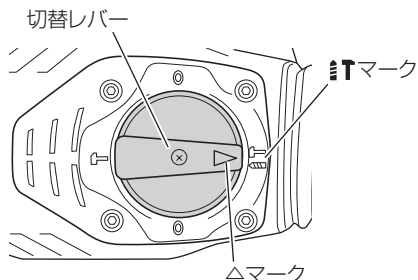
P10「工具の取付け・取りはずし」の
手順に従い工具を取付けます。

2 必要に応じてストップを 取付ける

P14「ストップの使い方」参照

3 作業モードを"回転 + 打撃" に切替える

切替レバーを **ⓘ** に合わせます。
(P11「作業モードの設定」参照)



注 気温の低いとき、あるいは長期間使用しなかったときなどは、5分間位空運転し、機体が暖まってから使用してください。
グリースが固くなっていて、モーターが回転しても打撃しない場合があります。

4 電源プラグをコンセント にさし込む

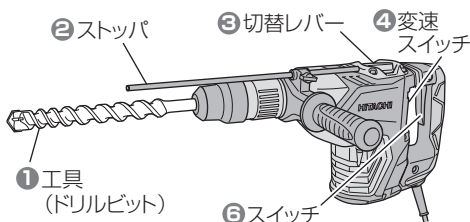
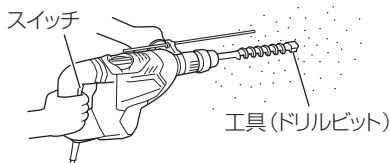
通電ランプが点灯します。
P12「通電ランプについて」参照

5 変速スイッチを設定する

変速スイッチを押して、作業に応じた回転数・打撃数を設定します。
P12「回転数・打撃数の調整」参照

6 スイッチを入れる

穴あけ位置に工具の先を当ててから
スイッチを入れます。



ハツリ・破碎する

"打撃"モードでコンクリートの
ハツリ・破碎・溝掘り・角出し・はがし作業

警告

工具の取付け・取りはずしの際は、必ずスイッチを切り、電源プラグをコンセントから抜いてください。

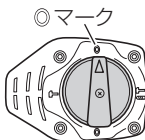
注 気温の低いとき、あるいは長期間使用しなかったときなどは、5分間位空運転し、機体が暖まってから使用してください。
グリースが固くなっている、モーターが回転しても打撃しない場合があります。

1 工具を取付ける

P 10 の「工具の取付け・取りはずし」の手順に従い工具を取付けます。

2 工具の向きを決める

コールドチゼル、カッタ、スコップを使用するときは、切替レバーを○に合わせ、工具先端の向きを決めます。
(P11「作業モードの設定」参照)

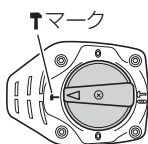


注意

ハツリ・破碎用工具などは必ず"打撃"の位置で使用してください。
"回転+打撃"の位置で使用すると、工具が回り、思わぬ事故の原因になります。

3 作業モードを"打撃"に切替える

切替レバーを↑に合わせます。
(P11「作業モードの設定」参照)



4 電源プラグをコンセントにさし込む

通電ランプが点灯します。
P12「通電ランプについて」参照

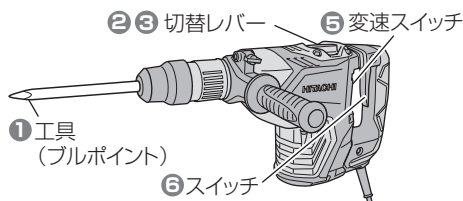
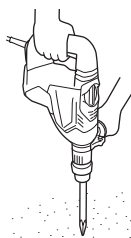
5 変速スイッチを設定する

変速スイッチを押して、作業に応じた打撃数を設定します。
P12「回転数・打撃数の調整」参照

6 スイッチを入れる

ハツリ・破碎する位置に工具先端を当ててからスイッチを入れます。

床面のハツリ・破碎の際には、機体の自重を利用し、反動を押さえる程度に押しつけて作業してください。



使
い
方

ドリルチャック【別売部品】の使い方

ドリルチャック、チャックアダプタを取付けると、ドリルとして使用できます。切替レバーを“回転+打撃”の位置にして使用してください。

1 ドリルチャックにチャックアダプタを取付ける

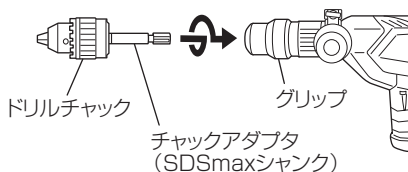


⚠ 注意

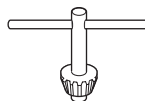
穴の抜けぎわにドリルを折ることがありますので、穴の抜けぎわに機体を材料に押しつける力をゆるめてください。

2 機体にチャックアダプタを取付ける

P10の「工具の取付け・取りはずし」の手順に従いチャックアダプタを取付けます。



3 市販のドリルをチャックハンドルを使ってドリルチャックに取付ける



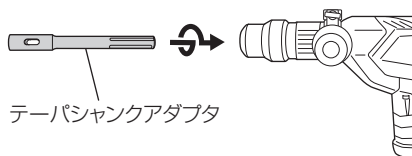
4 以下P15「穴をあける」の②からの手順に従い作業する

テーパシャンクアダプタ [別売部品] の使い方

テーパシャンクアダプタを取付けると、テーパシャンクタイプのドリルビットを使用できます。

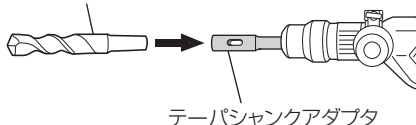
1 テーパシャンクアダプタを機体に取り付ける

P10の「工具の取付け・取りはずし」の手順に従いテーパシャンクアダプタを取付けます。



2 ドリルビットをテーパシャンクアダプタにさし込む

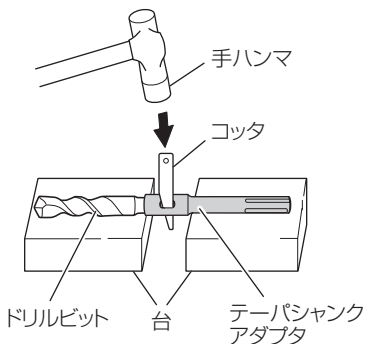
ドリルビット
(テーパシャンクタイプ)



3 以下P15「穴をあける」の②からの手順に従い作業する

4 ドリルビットをテーパシャンクアダプタから取りはずす

テーパシャンクアダプタの長穴部分にコッタを入れ、コッタの頭を手ハンマでたたいてはずします。



コアビット【別売部品】の使い方

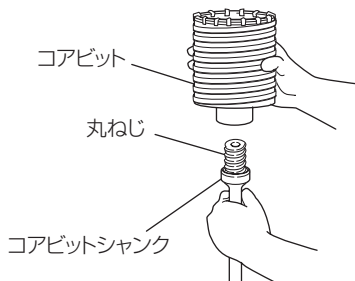
コアビット、センタピン、コアビットシャンクなどのコアビット用別売部品を使用すると、大口径の貫通穴、止まり穴をあけることができます。

⚠ 警告

コアビットシャンク、ガイドプレート、センタピンの取付け、取りはずしの際、万一の事故を防止するため、必ずスイッチを切り、電源プラグをコンセントから抜いてください。

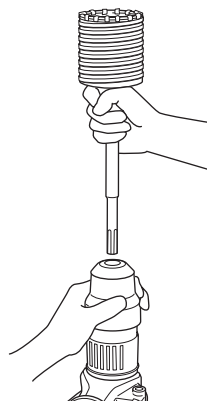
1 コアビットシャンクに コアビットを取付ける

丸ねじ部に油を塗っておくと、分解するときゆるみやすくなります。



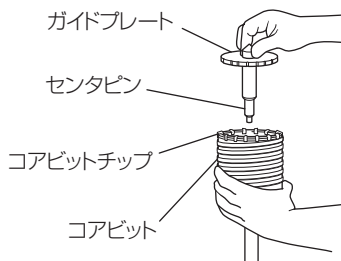
2 コアビットシャンクを 機体に取り付ける

P10の「工具の取付け・取りはずし」と同じ要領で取付けます。



3 ガイドプレート、センタピンをコアビットにさし込む

- ①ガイドプレートにセンタピンを奥までさし込みます。
- ②ガイドプレートの凹部をコアビットチップに合わせてはめ込み、左・右どちらかに回します。



4 作業モードを "回転+打撃"に切替える

P11の「作業モードの設定」を参照してください。

5 電源プラグをコンセント にさし込む

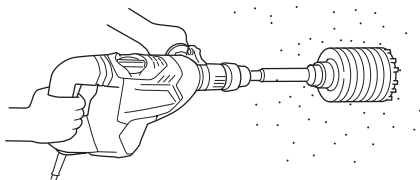
通電ランプが点灯します。
P12「通電ランプについて」参照

6 変速スイッチを設定する

変速スイッチを押して、作業に応じた回転数を設定します。
P12「回転数・打撃数の調整」参照

7 スイッチを入れる

あけたい穴の中心にセンタピンを合わせ、穴あけを開始します。

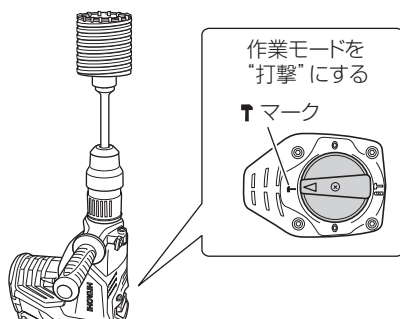


8 位置決め完成

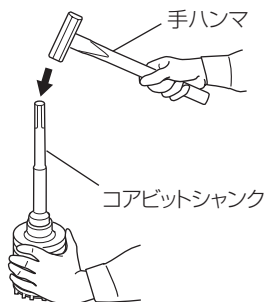
約5mm穿孔すると位置決め溝が完成します。
コアビットからセンタピン、ガイドプレートを取りはずして、完成した位置決め溝に合わせて穴あけをすすめます。

9 コアビットを取りはずす

①作業モードを“打撃”にし、コアビットシャンクを機体に挿入したまま上向きにして、2～3回無負荷運転で打撃します。



②機体からコアビットシャンクをはずしてコアビットを手で持ち、コアビットシャンクの頭を手ハンマで2～3回強打すると、丸ねじがゆるみ、取りはずすことができます。



保守・点検

警告

点検・お手入れの際は、必ずスイッチを切り、電源プラグをコンセントから抜いてください。

●グリースの交換

この機体はグリース密封構造となっていますので、ほこりの侵入を防ぎ、グリースは漏れない構造となっています。従って、長期間無給油で使用できます。
しかし、機体を長持ちさせるために6ヶ月ごとにグリースの交換をしてください。

注 機体へ使用しているグリースは特殊グリースです。他のグリースを使用した場合、性能を著しく損なう恐れがありますので、必ずグリースの交換はお買い求めの販売店に依頼してください。

●工具の点検

摩耗した工具を使用するとモーターに無理をかけることになり、また能率も落ちますので早めに研磨するか新品と交換してください。

●取付ねじの点検

時々点検して、ゆるんでいたら、締め直してください。
そのまま使用すると危険です。

●モーター部の取扱について

モーター部に傷、洗油および水をつけないよう十分注意してください。

注 ごみやほこりを排出するため、使用後は、モーターを無負荷運転させて、湿気のない空気をテールカバーの風穴から吹き込んでください。
モーター内部にごみやほこりがたまると、故障の原因になります。

●製品や付属品の保管

使用しない製品や付属品の保管場所として、下記のような場所は避け、安全で乾燥した場所に保管してください。

- 注**
- お子様の手が届いたり、簡単に持ち出せる場所には保管しない。
 - 軒先など雨がかったり、湿気のある場所には保管しない。
 - 温度が急変する場所、直射日光の当たる場所には保管しない。
 - 引火や爆発の恐れがある揮発性物質の置いてある場所には保管しない。

ご修理のときは

修理・お手入れ・お取扱いのご相談は、まずお買い求めの販売店にご依頼ください。
転居や贈答品などでお困りの場合は、商品名・品番をご確認の上、お近くの営業拠点へ
お問い合わせください。

お客様メモ

お買い上げの際、販売店名・製品に表示されている製造番号(NO.)などを下欄にメモしておかれますと、
修理を依頼されるとき便利です。

お買い上げ日	年 月 日	製造番号(NO.)
販売店(TEL)		

全国営業拠点

お客様相談センター ※土・日・祝日を除く 9:00~17:00

●フリーダイヤル



0120-20-8822

※携帯電話からはご使用になれません。

携帯電話からはお近くの営業拠点にお問い合わせください。

※長くお待たせする場合があります。

お急ぎのときは、お近くの営業拠点に直接お問い合わせください。

●営業本部	●北陸支店
TEL (03) 5783-0626	TEL (076) 263-4311
●北海道支店	●関西支店
TEL (011) 896-1740	TEL (0798) 37-2665
●東北支店	●中国支店
TEL (022) 288-8676	TEL (082) 504-8282
●関東支店	●四国支店
TEL (03) 5733-0255	TEL (087) 863-6761
●中部支店	●九州支店
TEL (052) 533-0231	TEL (092) 621-5772

- 営業所の移転等により、上記電話番号に連絡がとれない場合は、
下記のアドレスにアクセスすることで、最新の全国営業拠点
をご確認いただけます。

<http://www.hitachi-koki.co.jp/powertools/sales.html>

WEBに
アクセス



右のQRコードをバーコードリ
ーダー機能付きの携帯端末より
読み取ることで、最新の全国営
業拠点をご確認いただけます。



〒108-6020 東京都港区港南2丁目15番1号(品川インターシティA棟)

営業本部 TEL (03) 5783-0626 (代)

電動工具ホームページ—<http://www.hitachi-koki.co.jp/powertools/>